

# 適応外の薬を用いた 臨床試験をどう立ち上げる？

臨床研究法による特定臨床研究、医師主導治験で適応外の薬を用いた臨床試験を企画するうえで、用法・用量の設定が大きな鍵となります。

対象とする疾患によっては同じ薬であっても至適用量が異なってくる可能性があります。ただそこには有効性のみならず安全性も考慮しなければいけません。今回は、本来の適応症とは異なる疾患に対する薬の臨床試験を想定し、症例報告や限られた情報のなかから用量設定をどうするのか、みなさんと考えたいと思います。

日時

**2024年4月14日（日）**

10:00～16:00

開催方式

**WEB 開催**

スモールグループによるグループワークと  
全体討論レクチャー

募集人数

**60名**

（事前参加申込制）

参加募集締切

**4月4日（木）**

参加費

会員 1,000円

非会員 3,000円

一般 6,000円

※非会員：大学関係・医療従事者

主催

日本臨床薬理学会

臨床研究レクチャー

・臨床研究専門職とは

臨床研究  
ワークショップ

① 適応外の薬を用いる  
臨床試験とデザイン

② 適応外の薬を用いる  
臨床試験での  
用量設定について

ミニレクチャー

適応外の薬を用いる  
臨床試験と研究倫理

講師

植田真一郎 琉球大学

志賀 剛 東京慈恵医科大学

申込先

お申し込みは  
学会ホームページをご確認ください  
<https://www.jscpt.jp/seminar>